

## 「親育」スケジュール

※年内の子ミュカ®ゼミナールは【オンラインライブ】で開催いたします。表紙にございました「親育アンケート」にご回答頂くことを条件に受講料が無料になります。(zoom cloud meetingを使います)

<発達段階シリーズ 第3弾>

- ・ 9月18日(金) 第62回「言葉の与え方のコツ」  
21:00~22:00 担当:黒田 忠晃
- ・ 10月24日(土) 第63回「乳幼児期の遊びの種類」  
~ひとり遊び・ごっこ遊び・模倣遊び~  
21:00~22:00 担当:岩淵 優子
- ・ 11月20日(金) 第64回「アウトプット力を高める！」  
~惹きつけるプレゼンテーションとは?~  
21:00~22:00 担当:山上 敏樹
- ・ 12月12日(土) 第65回「ハタモク&親育ネットワーク」  
19:30~21:30 担当:黒田 忠晃

## 親育メンバー募集中

「親育メンバー」を随時募集しております。3種類の会員制度がございます。お申込は、HPからどうぞ。(講座受講で入会金免除、入会月で会費が異なります)

- ▼正会員 一緒に活動して、盛り上げていきたい。  
入会金:10,000円 年会費:12,000円(月1,000円)
- ▼利用会員 イベントや講座に参加したい。  
入会金:1,000円 年会費:6,000円(月500円)
- ▼賛助会員 私たちを応援したい。  
入会金:10,000円 年会費:12,000円(月1,000円)

**私達が正会員メンバーです**(50音順、令和2年9月1日現在。メンバーの紹介はHPにて)

代表理事) 黒田 忠晃 副代表理事) 山上 敏樹 理事) 横山 美八子 監事) 岩附 あずさ  
正会員) 阿部 ゆり 岩淵 賢次 岩淵 優子 太田 秀樹 久野 由詠 谷川 未左子 平野 弘子  
眞柄 文子 松本 紀子 村野 政章 山本 百百代

**NPO法人  
親育  
ネットワーク**  
「親育」を通じて、未来ある社会を

〒470-0122  
愛知県日進市蟹甲町中島277-1 (にぎわい交流館内)  
電話: 0561-76-3475 (La C Lo内)  
E-Mail: oyaiku.network@gmail.com  
HP: 「親育ネットワーク」で検索  
<http://www.oyaiku-net.org/>



# おやいく通信

NPO法人親育ネットワーク      令和2年9月  
第8号

## 親育アンケートにご協力ください!



NPO法人親育ネットワークは、保護者や子どもと携わる大人を対象に、新しい時代の価値観や、子育てに関する知識や情報を発信する「親育」を行う個人及び団体を繋ぐネットワークを創ることを通じて、「親育」の意義や必要性を社会認知させるとともに、家庭教育を含めた子育て支援の場を広く展開することによって、互いを認め合い、幸福感をもって生きている人があふれる社会を創出することを目的として、2015年に設立、5年の月日が経ちました。ここまで活動を進められてきたのは、多くの皆様に支えられてきたからと感謝の気持ちでいっぱいです。

\*

さて、社会には、子育てで悩んでいる方が多くいらっしゃいますが、中には、児童虐待のような問題も多くあります。そこには、近年の社会環境の変化に伴い、核家族化や地域での孤立、相談相手や場所がない、親自身の心の課題が解決していない等々の原因があると思われます。活動を通して「まずは親が変わらないとね。」「親育って大事だよね。」というお声をたくさん頂戴しました。感覚的に「親育」の意義や必要性を感じてくださっている方が多いのですが、数値として見える形、すなわち、定量化されていないのが現実です。

私たちはこれまで、毎月1回「子ミュカ®ゼミナール」と題して、子育てに関する講座の開催や、親子で学ぶ機会を創って参りました。しかし、より広く「親育」の意義や必要性を社会認知させていくためには、それらを定量化して、発信していくことが必要であると考え、昨年6月に、正会員で「親育研究会」を発足し、子育てに関する課題、親子の心の課題、社会課題等々を話し合いながら、より多くの声を集めるためにアンケートを作成いたしました。世の中に、家庭教育を含めた子育て支援の場を広め、互いを認め合い、幸福感をもって生きている人があふれる社会を創る第一歩として、アンケート回答にご協力頂けたら幸いです。

NPO法人親育ネットワーク代表理事 黒田 忠晃

アンケートはこちらから→

予告: 「親育アンケート調査」の結果を集計した白書を作成するために、今秋クラウドファンディングを実施いたします。ご協力よろしく願いいたします。



試験的に2回オンライン講座を行いました。

## ○7月 オンライン Good or Not Good

代表理事の黒田が担当いたしました。前半は、ネットでのトラブルの現状や情報モラル啓発のツールのご紹介をさせて頂きました。愛知県と日進市の青少年健全育成に関する委員を務めておりますので、その会議で出てきた内容を一部共有させて頂きました。

それを踏まえ、オンラインの「いいところ」と「よくないところ」について答えて頂きました。

後半は、映像を見ながらSNSにおける誹謗中傷について考えました。ご覧頂いた映像の中に入っているテーマがいろいろあったことから、多面的な意見を伺うことができました。参加者の皆様のご意見をまとめると「コミュニケーション力を高めていくこと」「いい点と悪い点を知った上で、アナログとデジタルをどう共存させていくか」「相手に対する行為が、全て自分に返ってくること」だったように思います。



## ○8月 発想力を鍛えるソウゾウリョクUPコーチング

副代表理事で、特定非営利活動法人子どもアイデア楽工理事長のコウチョウこと山上敏樹が担当しました。

コロナ禍の影響で、外出できずにテレワークやオンライン授業が当たり前の時代になってきました。今までは、外遊びなどの実体験を通して、発想力や創意工夫力を鍛えてきましたが、それが出来づらい現代社会では、家庭教育が必要不可欠であり、親さんの協力なくしては厳しい状況になってきています。そこで、今回の子ゼミでは、家庭内で簡単にできる発想力強化メソッドを、ワークを交えてわかりやすくお伝えしました。

「みんな一緒」の成長社会では、情報処理能力が優れている人材が、頭が賢いと言われてきました。時代と共に、成熟社会になると情報活用能力が求められるようになり、ラーニングに変化しています。つまり、頭の回転が速いだけでなく、柔らかい頭も必要です。そこで、発想力を鍛えるアクティブラーニングを、実際にワークを通して、参加者に体験していただき、その重要性を理解していただけるように行いました。



Zoom cloud meetingを使って子ゼミを行いました。

**お知らせ：年内の子ゼミは全てオンライン講座となります。9月からの講座は裏表紙をチェック！発達段階シリーズ第3弾です。**

「自分は何者か？」を、折に触れて考えてきました。40人学級の何クラスもあるマンモス校から、1学年1クラス、わたしのクラスは女子6人男子8人の14人、全校生徒100人程の小さな田舎の学校に転校した小学3年生の時からな気がします。

大勢の友達と走り回ってランドセルをどこかに置き忘れて帰るような子どもらしい子どもだったはずのわたしは、転校先では街から来た生意気で大人びた子に見えたようでした。転校生で制服はセーラー服、まだ3年生なのに胸が大きくなっているわたしをみんなが見に来ました。やんちゃ目の男の子や女の子に無理矢理痛い程胸を触られたり、身体測定では6年生になるまで、パンツ1枚でカーテンも閉めず夏には窓も開けばなし、胸を隠すことも許されず、男の子達の好奇心の目にわざわざさらすように胸囲を計られるようなことが普通の学校でした。

田舎の村八分は逃げ場がなく本当に怖かったです。転校してからの小学生時代は思っていることのほとんどを誰にも伝えることが出来ませんでした。こんなわたしはいったい何なのか？小学生なのに自死を考えることもしょっちゅうでした。

空気を読むという言葉があります。この夏、猛暑の中でもマスクを外さない小学生を見て、外さないじゃなく、外せないんだらうなあと感じます。おりこうで空気を読むことができる子ほど危ないように思え、自分の命を守ることを当たり前にする世の中ではないようにわたしは思えます。最近を、戦前の非国民だと石を投げられていた時代と同じように、西洋の魔女狩りの時代と同じように感じます。

わたし達は何の為に生まれてきたのでしょうか？分岐点であるかもしれない一瞬一瞬を蔑ろに生きてはいけないと思います。だって、忘れがちだけど、次の瞬間には尽きるかもしれない儚い命を持ったわたし達なのだから。社会の為に、みんなの為に、とメディアが発信する世の中の流れに右ならえで空気を読み続けることは、自分の命を生きることを蔑ろにする危ういことではないかとわたしは思います。

これからの社会を新しい日常と標すなら、右へならえの過去の歴史の過ちを繰り返さず、個々を大切にすることが当たり前な社会にしたい。自分の良心に従い、一人一人が嫌なことを嫌だと当たり前と言える社会にしたいとわたしは思います。

わたしは何者か？何の為に生まれてどんな人になりたいのか？

周りの幸せを望むなら、まず自分を幸せに。そこからしかみんなを幸せに、社会全体を幸せにすることはできないのだから。

